信州大学学術研究院人文科学系　〔助教〕（主担当：人文学部人文学科）
公募要領

１．公募の趣旨・背景

信州大学人文学部では，日本言語文化コースの専任教員を以下の要領で公募します。日本言語文化関係科目の担当教員を補充し，学生の就学環境を整備し，教職課程および教員免許授与への対応を図るものです。つきましては，適任と思われる方がいらっしゃいましたら，ご応募ならびにご推薦くださいますよう，関係者の方々に周知方お願い申し上げます。

２．職名・人員

助教（任期なし）・1 名

３．所属学系

信州大学学術研究院　人文科学系

４．主担当学部等

人文学部　日本言語文化コース

５．研究分野

日本言語・日本文化に関する研究に従事しつつ，国際的な視座に立ち，和漢比較文学や対照言語学など，日本語以外の言語にもアプローチしうる方。

※別紙「日本言語文化コースのコンセプトおよび新任教員に期待すること」も参照のこと。

６．職務

〔学部専門教育科目〕

日本言語文化コース専門科目（令和 10 年度新規開講予定科目を含む），卒業論文指導，その他の日本言語文化コース関係科目のほか，「新入生ゼミナール」など。

〔共通教育科目〕

日本言語文化に関する入門的科目など。

〔教職課程関係科目〕

「国語科指導法」「国語科指導法特論」など関連する科目。

〔大学院科目〕

※大学院の授業科目も担当していただく予定です。

〔大学運営・学部運営等〕

入試に関する業務，学部内・全学の各種委員会の業務。

７．応募資格

１）博士の学位を有する方が望ましい
２）採用後は，松本市またはその近郊に居住でき，学生教育に熱意のある方
３）入学試験業務をはじめとする大学運営・学部運営の業務に参画できる方
４）日本語で授業・学生指導が担当できる方

８．採用予定日

令和 9 年 9 月 1 日以降のできるだけ早い日

９．待遇

給与：新規採用の場合は，本学規定に基づく新年俸制
（国立大学法人信州大学年俸制適用職員給与細則第 4 条および第 5 条適用）
勤務地：信州大学松本キャンパス（長野県松本市旭 3-1-1）
勤務形態：常勤，裁量労働制
社会保険等：文部科学省共済組合，雇用保険加入
このほか，国立大学法人信州大学の規定に基づきます。

10. 提出書類

1）教員調書（所定の様式。末尾に記載した学部ホームページ内の公募情報ページから様式をダウンロードし，ご使用ください。）

記載例を参考にご記入ください。「学会及び社会における活動等」の欄に，これまでの外部資金の獲得実績，および現在申請中のものをいずれも記載してください。なお，研究業績にはそれぞれ通し番号を付すとともに主要な業績（著書・論文）3 点の番号に〇印を付けてください。また，各論文については 200 字程度，主要な業績 3 点については 600 字程度の要約をそれぞれ概要欄に記載してください。（主要な業績に関しては別紙に記載してもかまいません。）

2）著書・論文などの全業績の現物もしくはコピー

刊行・掲載がすでに決定している未公表の業績がある場合，発行元の証明書類を付けてください。

可能であれば，単著の書籍を除く全業績（共著の書籍の担当部分，単著論文と共著論文等）について電子データ（PDF）に変換したものを，CD・DVD もしくは USB メモリにまとめて提出してください。ただし，電子データの提出の有無は，審査には関わりません。

3）本学部の「理念・教育研究目標」および「日本言語文化コースのコンセプトおよび新任教員に期待すること」に則った，教育研究に関する抱負（1,000 字程度）

（人文学部の「理念・教育研究目標」および「日本言語文化コースのコンセプトおよび新任教員に期待すること」は，末尾に記載した学部ホームページ内の公募情報ページをご参照ください。）

4）担当予定授業科目のうちから「日本文学概論」または「日本語学概論」のうちから 1 科目，「日本言語文化特論」の計 2 科目（セメスター90 分 15 回分）のシラバス

※「日本言語文化特論」は，本学部における新規開講予定科目です。ご自身の主たる研究領域をテーマとしてシラバスを作成してください。

※シラバスの書式および各授業の位置づけについては，末尾に記載した学部ホームページ内の公募情報ページからリンクしている本年度シラバスをご参照ください。

5）そのほか審査に寄与すると応募者本人が判断するもの。

11. 応募締切

令和 9 年 2 月 1 日（月）必着

12. 選考方法

第一次選考（書類審査）を経て，第一次選考合格者に対して第二次選考（面接および模擬授業）を予定しています。

※信州大学は男女共同参画を推進しており，業績等（研究業績，教育業績，社会的貢献ほか）および人物の評価において同等と認められた場合には女性を採用します。ただし，これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。

13. 書類提出先

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学人文学部長 宛

応募書類は，「日本言語文化コース専任教員応募書類」と明記し，持参または配達記録が残る方法（書留郵便，宅配便等）でお送りください。

なお，持参する場合は平日の 9 時から 17 時までの受け付けとします。

JREC-IN Portal の「Web 応募」機能からの応募も受け付けます。Web 応募の場合，応募書類をまとめた zip ファイルを「Web 応募」ボタンからアップロードしてください。提出書類は，「1）教員調書」で指定した「主要な業績」3 点は PDF ファイルをそれぞれ作成し，それ以外のすべての書類は 1 つの PDF ファイルにまとめ，これらすべてのファイルを zip ファイルにまとめて提出してください。

※どうしてもデータ化できない資料については，下記の問合先メールアドレス宛に相談のうえ，上記提出先宛に簡易書留で郵送してください。

14. 問合せ先

信州大学人文学部人文学科日本言語文化コース
電話：0263-37-2233
E-mail：jkoubo01@shinshu-u.ac.jp

15. 信州大学および人文学部・大学院総合人文社会科学研究科のホームページの URL

・信州大学
https://www.shinshu-u.ac.jp/
・信州大学人文学部
https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/
・信州大学大学院総合人文社会科学研究科
https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/graduate/

16. その他

・信州大学では，研究者がその能力を最大限発揮できるよう，研究補助者制度やメンター制度の導入による研究環境の整備を行っています。特に，女性研究者支援として，新規採用の女性教員（常勤）に研究費を支援する「スタートアップ研究費支援」や，育児・介護休業等から研究活動に復帰した際に研究費を支援する「リスタートアップ研究費支援」を実施しています。また，教職員のワーク・ライフ・バランスの推進として，学内保育施設運営，ベビーシッター派遣事業割引券の配付，大学入学共通テスト等における一時保育など男女共同参画へ積極的な取り組みを行っています。
・信州大学では，極めて優秀な若手研究者に「Rising Star 教員」の称号を授与し，手当の支給，早期昇進機会を付与するなどの優遇措置を行うことで，最先端の研究を牽引するトップレベル研究者を養成する制度を設けています。
・教員調書の賞罰・処分歴等欄には前科および懲戒処分歴を記載してください。該当事項がありながらそれらを記載しない場合は経歴詐称とみなす場合があり，採用取消や懲戒解雇等に繋がる可能性があります。
・郵送された書類は，審査終了後速やかに返却します。また，提出された書類に含まれる個人情報は，個人情報保護法に基づき，本選考以外の目的には使用しません。
・面接に際しての旅費等は応募者本人の負担となります。
・本公募に関する情報は，学部ホームページ内の公募情報ページに，ダウンロードできる様式と記載例とを掲載しています。
URL ： https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/recruit